



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「耳の聞こえないお母さんへ」

★今回の道徳の授業のねらい

父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする心情を育てます。

★お話のあらすじと内容

耳の聞こえない母親に書いた主人公の手紙です。母親の、耳が聞こえないという障害を乗り越えて主人公を思う気持ちと、主人公の耳が聞こえない母親を思いやる気持ちが描かれていて、親子愛が感じられる教材です。互いの心を思いやる家族の絆の強さを感じ取れる教材です。

★子どもたちの授業の様子

家族がいてよかったなと思うことについて発表しました。子どもたちは「まだある！まだある！」と嬉しそうに話してくれました。

- ・おじいちゃんと一緒に温泉に入ったり畑仕事をしたりしたこと。楽しかった。
- ・お父さんとお風呂に入ったこと。お母さんにお菓子を買ってもらったこと。嬉しかった。
- ・ペットの犬と遊ぶとき。なめてきて可愛い。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

お子さんには、発達段階に応じて家族の一員としての役割をつくっていただければと思います。

自分が家族の役に立っているという自覚をもつことは大切なことです。「ありがとう、助かるよ。」「こういうこともできるようになったんだね。」などと声をかけることでさらにお手伝いに対する意欲がわいてきます。また、そのようにお子さんとご家族の役割について話し合うところから、家族どうし思いやる心情も育っていきます。